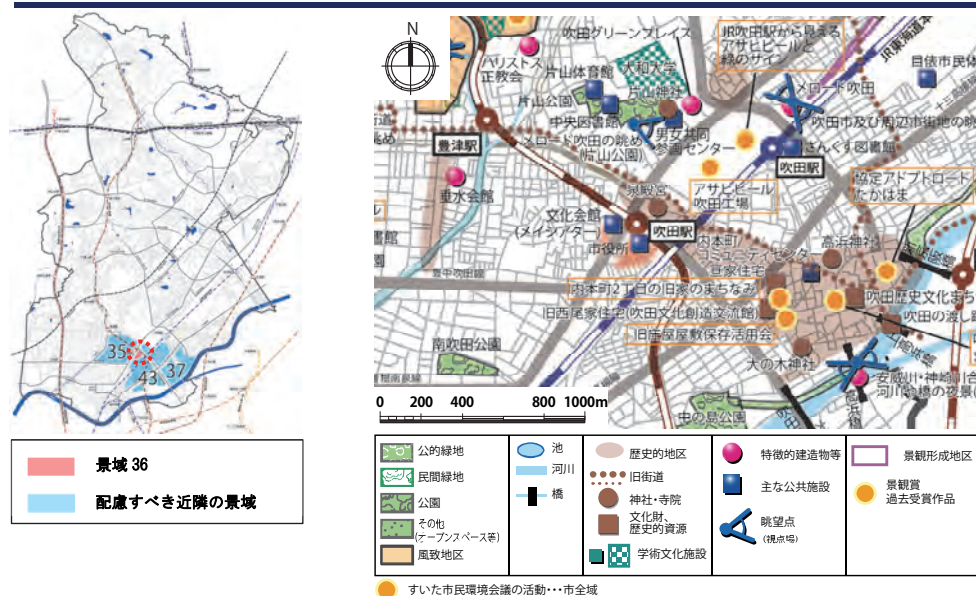


景域 36



地形

歷史

土地利用

都市活動・暮らし

景觀特性



120

公共施設のオープンスペースを活かし、まちの顔となる文化の薫り高いシンボル施設の景観をまもり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさの感じられる、駅前の景観づくりに努める。
- 祭りやイベントの舞台となりえる空間を創出し、人々のアクティビティを誘発する景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 各施設のオープンスペースを活かす、あるいは公共空間との一体化などにより、ゆとりある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、まちの顔となる文化の薫り高い景観の形成を図る。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 吹田高架橋の高架下や阪急千里線の線路周辺などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 鉄道施設のデザインの向上などを図り、駅前にふさわしい景観の形成に努める。
- 景観資源をまもり、はぐくむ。
- 駅前にふさわしいにぎわいや安らぎを与えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 35, 37, 43, 45